

タイトル 「事例発表Ⅱ」
学校名 厚木西高等学校 P T A

研究テーマ 「通学における事故防止に向けて取り組む中で見えてきたこと」

1 はじめに

《厚木西高等学校》

昭和 59 年 4 月に厚木市の研究学園都市「森の里」地区に開校した全日制普通科高校で、昨年度、創立 40 周年記念事業を実施しました。これまでに約 13,000 人の卒業生を送り出していました。今年度は 259 名の新入生を迎える、現在 744 名の生徒が在籍しています。四季折々、様々な鳥が集い季節の花々が彩を添えてくれる豊かな自然環境の中、「自立と連帶」「信義と友愛」を校訓として、「自立した一人の人間、また、社会の一員として、よりよい社会づくりに貢献できる、人間力あふれる人材の育成」を目標に日々の教育活動を進めています。

《インクルーシブ教育実践推進校》

平成 28 年には県立高校改革第 1 期におけるインクルーシブ教育実践推進校パイロット校の指定を受け、共生社会の実現を目指して、「共に学び、共に育つ」インクルーシブ教育を推進しています。フロントゼロ、リソースルームの整備、チームティーチングや習熟度別授業の展開など、教育活動のユニバーサルデザイン化や相互理解を深める教育の実践に努めています。

《校章》

厚木市の花「さつき」をデザインしたもので、中央の太陽は栄光と希望に輝く若人の象徴であり、5 枚の花弁とペンの組み合わせは、5 つの教育方針の実践を通して、厚木森の里の大地に両脚をふまえ、心身共にたくましく、調和のとれた、実践力のある人間の育成を表現しています。



2 P T A 活動紹介

厚木西高等学校 P T A は、本部、広報委員会、成人委員会、環境整備委員会、交通安全委員会で構成され、生徒のみなさんが安心して充実した高校生活を送れるよう、日々活動に取り組んでいます。また、西翔祭文化の部では、委員会ごとに特色あるブースを出展し、学校行事を盛り上げています。

□ 本部

毎月の運営委員会の準備・進行を担当。学校と各委員会との連絡・調整を担っています。

□ 広報委員会

学校行事を取材し、年 2 回広報紙を発行。広報紙を通じて、学校の様子を保護者の皆さんにお届けしています。

□ 環境整備委員会

花植えや除草作業を年 3 回実施。快適で美しい学校環境づくりに貢献しています。

□ 成人委員会

会員の研修活動を企画・運営。今年度は 7 月に「ステンドグラス教室」を開催。今後も様々な企画を予定しています。

□ 交通安全委員会

登校指導や自転車点検を実施。生徒の安全な登下校を支えています。

3 交通安全の活動について

自転車通学の多い本校では、事故の報告を耳にすることも多く、今の3年生が1年生の時は、入学して数か月でこれまでの事故報告をはるかに上回る数の報告がありました。

今回の発表に向けて私たちは、「自転車の事故を防ぐには？快適な通学とは？」を考えてみました。そこで子どもたちに「通学路のどこで事故がおこるのか」「その時の状況は」「何年生か」などいくつかの項目でアンケートをとりました。その集計結果から見えてきたもの、交通安全委員会で取り組んでいる「全校生徒対象の自転車点検」「登校指導」の活動を含めて、通学する生徒とその保護者、地域に向けて、これからどのように取り組んでいく事がよりよい学校生活につながるのかをまとめたものをお伝えします。